

# 【交流人口100万人プロジェクト】

観光・スポーツ・文化交流を促進し、交流人口100万人を目指します！！



## 継続 文化・スポーツ交流活動奨励金

【予算 200 万円／スポーツ振興課 ☎(21)0152】  
市内の社会教育施設または体育施設を利用して行う文化・スポーツ交流活動を奨励し、交流人口を増加させることを目的に、その文化・スポーツ交流事業を行う主催者または主催団体に対して奨励金を交付します。

## 継続 町並み保存整備事業

【予算 901 万円／産業振興課 ☎(21)0257】  
城下町の面影を色濃く残す本町を中心に、町家の保存・修景（周辺景観に調和した）整備への助成を行い、歴史的町並みを維持します。高梁市歴史的風致維持向上計画では、中心的な事業として位置付け、対象地区内の建造物の保存修理または修景等に対して助成を行います。

## 継続 産学官連携推進事業

【予算 100 万円／秘書政策課 ☎(21)0208】  
平成26年4月に吉備国際大学「アニメーション文化学部」が新設されました。市が取り組んでいる「マンガ文化のまちづくり」を推進するため、大学と連携して調査研究を行います。



## 継続 ヒルクライムチャレンジシリーズ 2014 高梁吹屋ふるさと村大会

【予算 440 万円／スポーツ振興課 ☎(21)0152】  
健康志向やエコに対する意識の高揚から世界的に自転車ブームとなっており、広域的なスポーツ交流を進めるため、平成23年から開催している自転車レース「ヒルクライムチャレンジシリーズ」を継続して開催します。本市を全国へ発信する機会として活用していきます。

## 継続 備中神楽等保存伝承活動推進事業

【予算 397 万円／社会教育課 ☎(21)1516】  
地域で受け継がれてきた、備中神楽や渡り拍子を後世に伝えていくため、保存伝承活動や衣装等の整備などを行う団体に対して補助し、その活動を支援します。また、備中神楽研修会を開催し、神楽師の技術向上と後継者の育成を図ります。

## 新規 観光広報事業（ラッピングバス制作）

【予算 78 万円／産業振興課 ☎(21)0217】  
備北バス(株)所有の大阪梅田行き高速バス車両（2台）に備中高梁の観光地等のラッピングを施し、中国縦貫道沿い（兵庫県・大阪府等）、終点である阪急梅田駅での知名度アップを図ります。

## 継続 観光戦略アクションプラン推進事業

【予算 379 万円／産業振興課 ☎(21)0217】  
各観光協会をはじめ、民間事業者や各種団体、そして地域住民の力を集結して観光振興を進めています。観光活性化により地域に活力とにぎわいを創出するための協働の推進を目的として補助します。

# 【子育て支援の充実】

安心して子どもを産み、育てることができる環境を整えるため、子育て支援の充実を図ります



## 新規 幼保一体化学業

【予算 1396 万円／子ども課 ☎(21)0264、学校教育課 ☎(21)1509】  
乳幼児の減少、幼稚園・保育園の園児数のアンバランス、施設の老朽化等の課題への対応として、すべての子どもにより良い就学前教育保育を提供するため幼保一体化を進めていきます。有漢、川上地域から幼保連携型認定こども園への移行を目指し、必要な施設改修等を行います。

## 継続 広がる子どもの夢事業

【予算 150 万円／社会教育課 ☎(21)1514】  
市内の子どもたちが本物に触れ、実際に体験することで夢を広げてもらい、自分の夢に一步でも近づいてもらう、さまざまな事業を行います。  
・子ども歴史文化講座、プロスポーツ施設見学ツアーなど

## 拡充 要支援児対策事業（スクラム作戦）

【予算 1505 万円／子ども課 ☎(21)0288】  
要支援児の生涯にわたるよりよい環境づくりのため、関係機関の連携と保護者の参加による連携支援体制を構築し、就学前から学齢期、成人期へと発展させた連携支援体制を強化します。

## 継続 放課後子ども教室推進事業

【予算 40 万円／社会教育課 ☎(21)1514】  
全ての子どもを対象に放課後や週末等に、地域の安全で安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、自然体験などの交流活動の機会を提供し、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

## 継続 子育て支援センター管理事業

【予算 1030 万円／子ども課 ☎(21)0288】  
高梁市子育て支援センター（ゆう・ゆうひろば）を拠点施設（センター型）として、就学前の子どもと保護者たちの交流、子育てに関する情報の提供、相談への対応、講習会などを実施します。また、子育てに関する総合的なサービスのコーディネートを行っています。

## 継続 子ども医療費支給事業

【予算 1 億 2670 万円／子ども課 ☎(21)0288】  
子育て支援として、子どもの健康の保持増進、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、0歳から18歳（18歳に達した年度末）までの医療費の自己負担分を原則無料となるよう助成します。

## 継続 不妊症対策支援事業

【予算 350 万円／健康づくり課 ☎(21)0228】  
子どもが欲しくても持つことが困難な夫婦に対し、県が指定した医療機関において不妊症と診断され、医療保険対象外の不妊治療を受けた場合の治療費の一部を助成します。

まちのデータ 出生数の推移

